

かがやき 楠小だより

文責：校長 佐野貞現

「地域を愛し、夢に向かって たくましく生きる子どもの育成」

ありがとう ごさいました①～いのちを見つめる教育週間～

4月当初の授業参観は実施できませんでしたが、今回の教育週間では、保護者や地域の方に子どもたちの様子を見ていただくことができました。今回の授業参観は、道徳の授業でした。道徳では、これから生きていくために必要な価値観を指導しています。特に「命の大切さ」は、しっかりと子どもたちの心に植え付けさせたいと考えています。現在の世の中は、昔とは比べ物にならないほど情報にあふれています。その中から、自分に必要な情報を得ることはとても大変なことです。が、「道徳的な価値観」を含め、子どもたちが生きるために必要な能力・技能は、身に付けさせてあげたいと考えています。



ありがとう ごさいました②～小佐々地区民生委員児童委員協議会様より～

先日、民生委員の〇〇様と〇〇様がお見えになり、学校へ生理用品を寄贈していただきました。(小佐々地区の全小中学校へ寄贈されました。) 昨今、日本全国で経済的な理由で生理用品を購入できない女性や女の子がいるという「生理の貧困」について、問題となっています。いろいろな考え方がありますが、「男女共同参画社会」へ進む現代においては、私たちもこの件に関しては理解する必要があると考えています。学校においては、発達段階を考えて対応していきます。



6・29佐世保空襲～いのちと平和の大切さ～



先月の27日(月)に、「佐世保空襲の日」の取組として「佐世保空襲を語る会」の方に来校していただき、平和集会を行いました。急遽、全学年、体育館で話を聞きました。焼夷弾の実物も持ってきていただいていたので、全児童、手にすることができ、戦争の

恐ろしさを感じることができました。その後、振り返りを行い、自分の思いを表現したクラスもありました。次は、8月9日の「県民祈りの日(長崎原爆の日)」に、平和集会を行います。ここでは、6年生が原爆について調べたことを発表します。

